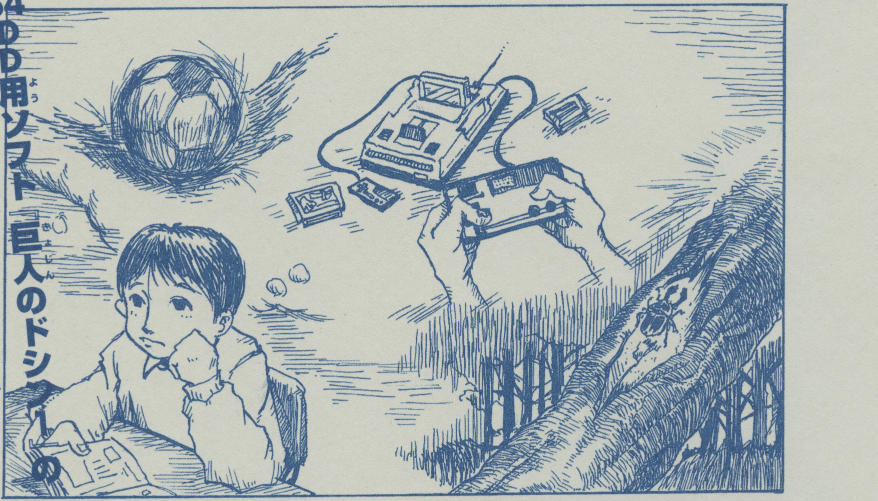
巨人島からの手紙

~The Story about "DoShin the Giant"~

連載第2回　作：Disc Drive Tribe

64DD用ソフト「巨人のドシン」の
世界からリアルワールドへ
二通目の手紙をお届けします…



「受験勉強は順調に進んでいるのか？」

今晩も、夜十時すぎに塾から帰宅したヨシノブに、父さんが尋ねました。

何度も同じことを言わなくてもいいじゃないか……ついそんな言葉が口から出そうになりましたが、ヨシノブはなんとか「大丈夫だよ」とだけ答えました。でも、内心はうんざりしていました。父さんは続けて、大きなため息とともにこう言うに決まっているからです……「ヒデキ兄さんは、それはもうよくできて何の心配もいらなかった」

その言葉を聞くとヨシノブの頭の中は、いつも兄さんとの思い出でいっぱいになってしまいます。ヨシノブがもっと小さかった頃は、本当によくヒデキ兄さんと遊んだものでした。サッカーもファミコンも昆虫採集のやりかたも、全部兄さんが教えてくれました。

は口をつぐんだままでした。

「そういえば、ヨシノブ宛に手紙が届いているわよ」

もの思いに沈んでいたヨシノブは、母さんの言葉にハッと顔をあげると、急いで部屋に駆け込みました。学習机の上に封筒が置かれています。差出人の名前はありませんでしたが、兄さんからの手紙に間違いありません。



俺は何度か島の人々と大胆なコミュニケーションを試みたのだが、ことごとく無視されてしまった。かといって、俺は彼らに拒絶されているわけでもないようだ……。彼らが俺を迎え入れてくれているのかどうか、俺には判断がつきかねる。しかし、その曖昧な態度は、この島のどこに行っても漂っている、むせかえるような濃厚で甘美な香りの様に心地好く、俺にある衝動を生じさせる……もし、ヨシノブに好きな女の子がいるとしたら、俺の感じている思いがよくわかるかもしれない。↙



そんな俺の行き場のない衝動に呼応するかのように、今日も巨人が現れた。そして、巨人はゆっくりとした動作で島を闊歩しはじめるのだ……。

追伸・この手紙のことをうっかり他人に話しでもしていないだろうな！

兄より

その兄さんが一年前に行方不明になったときから、両親は急に教育熱心になりました。ヨシノブを私立中学に入学させようと、塾にも通わせるようになったのでした。

わかってるよ。兄さんはいつだって、父さんや母さんの期待を裏切らなかった。楽々で一流大学に合格して、難しい研究をしていた……。そんな兄さんのことを一番好きだったのも、誇りに思っていたのも、この僕なんだ。でも、だからって、僕と兄さんを比べられても困るよ……父さんに、そう言えたら、どんなに気が晴れることでしょう？　しかし、ヨシノブ↖

ヨシノブへ

俺は相変わらず巨人の現れる南の島に滞留している。あの黄色い巨人の姿に、俺は未だに心を奪われたままなのだ。島での生活が長びいているが、健康に関して問題はない。研究室にこもりきりだった頃に比べると、格段にスリムになったが、すこぶる体調は良い。↙





なぜか毎晩、俺の寝ている間に、赤い実が届けられる。この島では、その実が俺にとって唯一の食料だ。不思議なことだが、こいつをごく少量食べるだけで一日中満腹でいられる。赤い実を届けてくれるのは、島の人々なのだろうが、それを確かめようと一晩中起きていた夜には、実は届けられなかったので確かめようがない。↖





この数日間、手紙に書いてあったこと——巨人のことや南の島での兄さんの暮らしについて——ばかり考えていたヨシノブは、学校でも塾でもぼんやりと過ごしてしまいました。

「ヨッシーじゃーねー」

「バイバーイ」……そんな友達の声にも、上の空な返事しかできません。



「ねえ、ヨシノブくん……ヨシノブくん！」

強く呼び止める声に、ヨシノブはようやく気づいて、足を止めました。大きくて綺麗な瞳が、ヨシノブの顔をじっとのぞき込みました。それは、よく知っている人——ヒデキ兄さんのガールフレンド、タカコ姉さんでした。

（次号に続く）

DDT通信 その2

8月号

今月の展開はどうだったでしょう。初登場のタカコ姉さんと放浪中の兄。そしてヨシノブの今後の関係が気になるところですね。さて、今回はこの絵物語ではあまり紹介されていない、ゲーム『巨人のドシン1』に出てくる巨人について少し解説しましょう。1）巨人の名前は「ドシン」です。「ドシン1」ではありません。2）ドシンは夜明けと共に現れて日没と共に消滅します。まさに太陽の化身です。だから、体の色が黄色なんですね。超人気キャラの色を真似したわけではありません。そして、次の日に登場する二代目の巨人なんですが、身長は元のサイズに戻ってしまいます。顔や体は全く同じなんですが、二代目ということで、多少性格も変わってくるのでしょうか。それは、プレイヤー次第です。代替わりは四十九代まで続きます。なぜ、四十九かって？　それは、おじいちゃんやおばあちゃんに聞いてみるといいよ。「四十九日」で辞書をひくのもいいかもね。『巨人のドシン1』に出てくる色んな数字や島の名前や様々な建築物は多くの書物から引用しています。それらの出典元を探るとだんだんこのゲームの世界観が見えてくる筈です。もちろん、この連載からも！

『巨人のドシン1』
●
ディレクター
飯田和敏

チームDDT 原案・文／飯田和敏 構成・文／相良伸彦 画／山崎廉

この三角形、1〜6まで全部集めると、いいことあるかもよ→

巨人 2